

湯川村立小中学校整備委員会 第1回会議録

- 1 日時
令和8年5月20日（水）午後4時～午後5時35分
- 2 場所
湯川村役場会議室 1・2
- 3 出席委員
22名中19名
- 4 出席事務局等
○教育委員会4名
教育長、教育次長ほか事務局2名
○一般財団法人ふくしま市町村支援機構3名

（開会 午後4時）

教育次長が進行を行った。開会に先立ち、委嘱状の交付を行った。

- 1 開会
教育次長が開会を宣言した。
- 2 教育長あいさつ
改めましてこんにちは。明るい時間から集まっていただきましてありがとうございます。今までだとうこういった会議はお仕事が終わった時間、6時や7時から開催していましたが、皆様が家に帰ってほっとする時間、自分自身の時間を持つことが大事だと思い、4時からの開催とさせていただきます。2回目以降もこのような形でやっていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
改めまして、湯川村立小中学校の整備ということで、教育委員会にとっても村としても大きなプロジェクトだと考えています。皆様から色々なご意見を頂戴しながら、夢のある、子どもたちが喜んで、笑顔で生活できる学校を作っていきたいと考えています。ただ建物を作りました、箱もの作りましたではなく、子どもたちがいきいきと学ぶことができる、笑顔で友達と遊んだり、学びあったりする学校を作っていきたいと考えています。

この場では皆様一人一人のこんな学校だったらいいなという夢を語りあっていけたらと思います。もしかしたらそれは実現できないのではという意見もあるかもしれませんが、できるかどうかは教育委員会、事務局で検討します。皆様から様々なご意見を頂戴しながら、「湯川村が大好きなゆがわっ子」の育成を目指して進んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 学校整備委員会の設置について

事務局が小中学校整備委員会設置要綱について説明した。

4 委員・事務局紹介

出席者全員が自己紹介をした。

5 委員長・副委員長の選出

選出については委員から事務局一任の声があった。事務局案として、委員長に五十嵐委員、副委員長に菊地委員を提案し、承認された。委員長、副委員長がそれぞれあいさつをした。

6 説明・協議事項

(1) 「これまでの経緯及び湯川村立小学校の整備に向けた基本方針」について

事務局が資料に基づき説明した。

【質疑応答】

委員 統合小学校建設の理由として、複式になってしまうという部分が前面に出ており、文章を読むと複式が悪いようなイメージに取られてしまうと感じます。私も複式を経験していますが悪いことばかりではなく、3年生以上のアンケートでも人数は少ない方が良いとの回答もあります。こんなに「複式が」と繰り返すことが良いことなのか疑問に思いますが、どうお考えでしょうか。

議長 前の会議では、これ以上に複式という文言がありました。私も複式を経験がありますので、複式になることが問題ではなく、少人数であることが問題だと思っています。今も複式の市町村が多くあります。そういったところが一生懸命取り組んでいるのに、複式という文言が多いのはどうなのかという

ことでずいぶん減らしたのですが、それでもやっぱりひっかかりますよね。

委員
議長
教育長

前面に出てきているように感じました。

事務局どうでしょうか。

方針についてはこのような形で触れさせていただきました。私自身も完全複式を経験しております。イーハトーブのような、地域も含め全体が一つの家族のような温かい学校でした。これからの子どもたちの発達を考えたときに、将来は大きな集団に入っていかなければなりません。統合しない方が良くないと回答した子は、落ち着いたところで生活したい、学びたいという理由も述べていましたが、一方ではたくさんの友達と遊んだり競争したりしたいという希望もありました。統合しても各学年1クラスですが、子どもたちの将来のためにもなるかと考えています。

複式のデメリットを述べている部分もありますが、それだけではないという部分をご理解いただければと思います。

委員

例えばP.4の上部に、児童の学びの保障の面で課題があると記載があります。これを読んだ方は、複式学級には大きな課題があるのかと捉えてしまうと思います。今教育長がおっしゃったようなところを前面に出した方が良くと思いますがどうでしょうか。

教育長

児童の学びの保障という部分がどういったことを申し上げますと、1人の先生が1時間の中で2つの学年の授業をやらなくてはいけない部分になります。1時間の中で、片方の学年を教えている間は、もう片方の学年は自習にせざるを得ない状況があり、先生が十分に子どもと向き合うことができないという意味で記載しております。村で補充の先生を雇ったらどうかというご意見もありますが、予算面で課題となってくると考えています。

議長

複式のデメリットばかりを強調することがないように事務局で表現を考えるとということによろしいでしょうか。

当然、人数が少なくて適正な規模を考えていく時に、学級をくっつける、それより少ない場合は学校自体を統合するということは考えられることです。適正な規模にするということは、教育の質を上げて、学力向上にも繋がっていくことです。

ので、複式というよりは、少人数の弊害からの脱却という方向で考えていければと思います。

(2)「小中学校の整備」について

ふくしま市町村支援機構より説明を行った。

【質疑応答】

- 議長 基本構想は6ヶ月で考えていく形ですか。
- 教育次長 支援機構との契約期間は9月15日までとしております。この表にも記載していますが、約6ヶ月としております。ご指摘のとおり、タイトなスケジュールで決めなければいけないことも多くありますので、今後再度スケジュールを確認したり、精査が必要だと考えていますが、基本的には9月と考えています。厳しいスケジュールとなりますが、よろしく願いしたいと思います。
- 議長 時間的に余裕が無い中での取組となりますが、よろしく願いします。
- 委員 湯川中学校の敷地に建設とありますが、これは決定ですか。
- 教育長 そのとおりです。これから新たな用地を取得する場合、中学校の北側の田んぼぐらいしかなく、造成工事等を考えると期限に間に合わなくなります。中学校の校庭は近隣の学校に比べて広い校庭です。校庭の西側・東側に建設するかは未だ決めていませんが、校庭に建設することが工期的にも現実的だと考えています。
- 委員 広い校庭をのびのびと使える環境はそのままであってほしいという思いはありますね。
- 委員 野球・サッカー・ソフトボールと部活があるので、グラウンドを削ってしまって大丈夫かなと思います。
- 委員 現在外で部活をしているのが、野球部とサッカー部しかありません。ソフトボール部は部員が1人で、グラウンドを全く利用していません。生徒数も減ってきており、年2回の保護者の除草作業では賄いきれない現状ですので、先ほど教育長がおっしゃったように、新しい土地を求めるよりは、その場所を使うのがベストかなと思います。
- 部活の存続についてですが、今年4月の1年女子は全員バレーボール部に入部しました。ソフト部ボールは3年生が1人です。中学校生徒数の減少もありますので、部活動について

も検討していただくのが良いのかなと中学校保護者からも意見が出ています。

グラウンドが狭くなってしまおうと思う保護者の気持ちも分かりますが、ソフトボール部が無くなる可能性がある中で、近くにテニスコート、村体育館もありますし、そういう施設を上手く使い、子どもに多くの選択肢を与えていくのも一つだと思います。

委員 私も中学3年に息子がいますが、広いところでやりたいという子もいるので、全く無くすという考えではなく、広く使える良いところも残して欲しいと思います。

委員 中学校1年生のバレーボール部の保護者から文化部を作って欲しいという話がでており、校長先生にもお話がいったかと思いますが、選択肢を広げる点でも検討していただければと思います。

議長 中学校東側の駐車場に建設する意見も出ています。中学校に空き教室はあるんですね。

委員 空き教室はありますが、有効に活用しています。全く使用していない教室はありません。

教育長 中学校と施設一体型にするにあたって共用できる部分は共用していきたいと考えています。具体的には、体育館については小学校・中学校で今の中学校体育館を利用し、新しい体育館を作らない考えです。その他、例えば理科室・美術室・家庭科室も共用できる可能性はあるかと考えますので、今後ご意見をいただければと思います。

共用する体育館については、中学校と小学校の間にあることが望ましいと思いますので、小学校は体育館の南側、ソフトボール部で利用している場所の建設が理想的なのかなと個人的には考えています。

議長 建設場所については、ぜひ皆様も考えてみてください。

(3)「学校事例紹介（小中一貫教育校他）」について

事務局が資料に基づき説明した。

【質疑応答】

委員 月舘学園と豊前蔵春学園は村とだいたい同規模でしょうか。

教育長 私が初任校長として着任したのが完全複式だった月舘町の小

- 手小学校です。その小手小学校と月舘小学校が統合し、そのタイミングで中学校と施設一体型となり、月舘学園となった経過があるようで、湯川と同じようなケースかなと思っています。豊前蔵春学園については担当が説明いたします。
- 事務局 豊前蔵春学園につきましては各学年1クラスの構成となっており、村も各学年1クラスで同じ構成です。細かい資料、一目見て分かりやすい資料を県内や東北管内で調べてみましたが、中々見つかりませんでしたので、申し訳ございませんが他県の学校でお示しさせていただきました。こちらは完全新築のようで、村が想定している既存の中学校に統合小学校をくっつけていく形とは異なります。建物自体の構築としてはあまり参考にならないかもしれませんが、義務教育学校ではこういったことができますということでご参考いただければと思います。
- 委員 月舘学園の児童数は何人くらいですか。
- 教育長 私がいたころは、月舘小学校は各学年1クラス、小手小学校は完全複式で全校で24名でした。現在の全校児童数は50名くらいです。
- 議長 月舘は連絡通路があり、総合支所と繋がっているようですがなぜでしょうか。
- 教育次長 この部分が非常に特色ある学園になります。伊達市は月舘町と統合して、その際に新しい総合支所が出来て、複合施設的に作られました。推察ですが、複合施設的にすることにより財源で有利な部分があったのかと思います。月舘学園については、視察し、こういったことについても聞き取りをしていきたいと思っています。
- 議長 総合支所の中に家庭科室・音楽室があるようなので、学校と一般の方でどうやって分けて利用しているのかが気になりました。

(4)「今後のスケジュール」について

【質疑応答】

- 委員 だいたいのスケジュールは分かりました。ふくしま市町村支援機構との進捗具合と言いますか、ある程度形はできている状況なのか教えていただきたいと思います。

- 事務局 進め方については、大きい部分、学校形態・教育コンセプト・建設場所などについて協議決定しながら、決定した部分を都度構想に落とし込んでいく予定です。
- 委員 気になったのは、これから策定していく中で、例えばこれは必要ではないか、これはいらぬのではないかという議論を反映してもらえる余裕はあるのでしょうか。また、その段階段階で見てもらえるのでしょうか。
- 支援機構 9月の中旬まで整備委員会と同時進行で進んでいき、決まったものを構想に落とし込んでいきます。まず小中一貫校なのか、義務教育学校なのかで、教職員スペースの考え等も変わってきますので、早めに決定していただけるとその後に時間が割けると思います。
- 今回は構想ですので、敷地のどのあたりに建設するのかという部分はありますが、図面を作成するといったようなものは計画以降の話になります。基本的には文言の整理になりますので、8月下旬までに作成予定の素案に入れ込む場合ですと、7月下旬の委員会までの意見であれば入れ込めると思います。
- 教育次長 スケジュールがタイトですので、何も無いところで議論していただくのではなく、教育委員会としてこのようなことで検討していただきたいと、案をお示ししながら意見をいただく想定です。教育委員会と整備委員会でフィードバックしながら、支援機構にもご意見いただきながら進めていきたいと思えます。
- 委員 ありがとうございます。整備委員会の決定が遅れば、それだけ遅れるということで認識をしました。また、基本的な整備委員会の役割としては、教育委員会からの議題に対して意見を述べていくということで理解しました。
- 教育次長 繰り返しとなりますが、議論していただきたい内容をこちらからご提案する形が基本で、いただいたご意見を基本構想に反映していくという形でご理解いただければと思います。
- 委員 小中一貫校にするか、義務教育学校にするかでシステムが全く変わってきます。それぞれのメリット・デメリットがありますので、それがどういうものを会議の前に配布いただいて、委員も会議の前にそれを見た上で会議で意見交換するようにしていただきたいです。

当日配布だと読み込むだけで時間がかかりますし、ここが決まらないと、学校の構造や建設地の話も進みません。村にとって、どちらが子どもたちを育てるのに良いシステムなのかを考えないとスタートが切れないと思いますので、次回の会議の前にある程度資料を見せていただければと思います。

教育次長 次回以降の会議については、基本的に資料を事前配布することで考えています。

議長 事前配布の前に、小中一貫校か義務教育学校かについて学校に下ろしていただいて、それからこの会議ということで良いですか。学校の考えもありますし、それをこの会議だけで決めてしまって良いのかという部分もあります。

委員 校長会の方に下ろせば良いのでしょうか。

議長 そうしていただけるとありがたいです。

委員 事務局できますか。

議長 今の手順ですが、先に教育委員会で決めないと下りて来ないのではないのでしょうか。

議長 教育委員会で決めるとしても、学校側でも案を見てこうしてほしい等がありますよね。

委員 決定としてでは無く、あくまで意見としてですが、教育現場としてはこうですと言うことはできます。

議長 教育委員会での考えを小中学校に見ていただいて、その後に整備委員会に出してもらいたい。校長先生よろしいですか。

委員 先ほど事前配布が前提だとお話いただきましたが、皆様にも前もって見ていただければと思います。

委員 その内容によっては覆るということでしょうか。

委員 小中一貫校か義務教育学校について教育委員会が示した内容を整備委員会で精査して、違うとなった場合は変更するのでしょうか。頭から教育委員会で示した内容で進めますだと、我々が意見出す意味が無くなってしまいます。

委員 教育委員会が第一議的に検討するが、ご意見をいただきたい部分について、議題を絞って整備委員会に検討をお願いするという形だと思います。

教育次長 議題は決定されたものではなく、あくまで案であり、様々なご意見をいただきながら決定していくということでご理解ください。また、小中学校とも協議をした上でご提案するのが基本と考えています。

委員 小中一貫か義務教育かについて、メリット・デメリットの比較資料ですが、失敗事例も多く載せていただけると判断しやすいかと思います。失敗から学ぶことも多いと思います。

教育次長 よく検討していきたいと思います。

(5) その他

福島大学準教授の神山委員へご挨拶をお願いした。

神山委員 皆様こんにちは。このような会議に参加することは初めてでしたので少し緊張しています。皆様積極的に意見交換されていて、他ではこういった場で保護者の方等から中々意見が出ないということも耳にしますので、意見交流ができる良い場だと思いました。

これから議論を進めていくにあたり、どのような選択肢でもメリット・デメリットがあるかと思っています。デメリットを強調していくこともありますが、なぜその方向性にしたいのかという、より積極的な理由に焦点を当てて行くと良いと思います。

私が見たことのある事例では、福島の松陵義務教育学校があります。校長先生が義務教育学校にしたいという強い思いを持っていて、キャリア教育を中学校3年間だけではなく、小学校から一貫してやっていきたいとの話が印象に残っています。

皆様の強い思いを反映できるような議論ができれば良いと思いました。これからもよろしく申し上げます。

7 その他

事務局より事務連絡をした。

【質疑応答】

委員 この整備委員会で出た内容は他の保護者へ共有しても良いでしょうか。

教育次長 この会については、村民の皆様の関心が高いことでもありますので、会議録については、個人名を出さない形で公表していきたいと考えております。会議録を作成し次第、資料と併せて公表することを考えております。他の保護者に共

有いただいても大丈夫です。多くの意見を頂戴できればと思います。よろしくお願いします。

8 閉会

教育次長が閉会を宣言した。

(閉会 午後 5 時 35 分)